

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

< 参考資料 >
2015年11月25日
東京電力株式会社

(データ集約 : 11/25)

採取場所	3号機廃棄物処理建屋 (西側開口部)						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	2015年11月5日 10時09分～11時09分						
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)					
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03

- ※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。
- ※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。
その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
検出限界値は次の通り。
揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約6E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。
粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約4E-6Bq/cm³、Cs-137が約6E-6Bq/cm³。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。